

設置計画の概要

事 項	記 入 欄
事前相談事項	事前伺い
計画の区分	研究科の専攻の設置
フリガナ設置者	コクワダイクウジン キョウダイガク 国立大学法人 京都大学
フリガナ大学の名称	キョウダイガクダイガクイン 京都大学大学院 (Graduate School of Kyoto University)
新設学部等において養成する人材像	<p><教育学研究科> ①教育と人間にかかわる多様な事象を対象とした諸科学を考究することで、理論と実践とを結びつけた心・人間・社会についての専門的に高度な識見並びに卓越した研究能力を養成し、さらに、広い視野と異質なものの理解、多面的・総合的な思考力と批判的判断力を形成し、人間らしさを擁護し促進する態度を啓蒙することで、地球社会の調和ある共存に貢献できる高度な専門能力を持つ研究者及び確かな実践能力を有する教育関係専門家を養成する。</p> <p>②(修士課程) 理論と実践とを結びつけた心・人間・社会についての高度な専門的識見並びに卓越した研究能力、広い視野と異質なものの理解、多面的・総合的な思考力と批判的判断力、人間らしさを擁護し促進する態度並びに研究倫理観を、研究成果として実現する。さらにその結果として修得した高度な専門的識見により社会のさまざまな分野において実践的に活躍できる能力、または、より専門的かつ高度な研究者として活躍するための基盤となる能力を育成する。 (博士後期課程) 各自の研究・学修活動を通して、理論と実践とを結びつけた心・人間・社会についての専門的に高度な識見並びに卓越性と獨創性を発揮する研究能力、広い視野と異質なものの理解、多面的・総合的な思考力と批判的判断力、人間らしさを擁護し促進する態度を研究成果として実現する。さらにはその成果として、それぞれの分野において高度な専門的識見や分析能力等を兼ね備え自立した研究者として貢献、または指導的役割を担うことができる能力を育成する。</p> <p>【教育学環専攻】 ①「人間とは何か、人間にとっての教育とは何か」を、心・人間・社会をつなぐ学際的な「科学知」と、社会における「実践知」を融合させて探究し、その結果得られた「実践的叡智”フロネシス”」を身につけた以下の人材を養成する。 1) 教育学・心理学分野における獨創的で卓越した研究能力を持ち、世界最先端の研究をリードする研究者 2) 国際的視野に立ち、リサーチマインドを備えた教育・心理関連分野の高度な専門能力を持つ実践指導者 3) 社会的問題の解決のために、未来の教育をデザインしうる教育イノベーター</p> <p>② 高度な研究能力、創造力を育成することにより、質の高い学位論文(修士・博士)を完成するとともに、自主的な探究力を養い、異分野交流、理論・実践融合型研究を通して新学術領域の創出を担う能力と、高度な語学力、国際的発信能力、学術論文や学会発表などにより国内外に研究成果を発信し、学界をリードしうる能力、また、社会的問題の解決のため、高度な教育・心理の専門能力とリサーチマインドを持ちながら、現実の社会のさまざまなところで真に必要とされている処方箋を描き、イノベーションを起こすための知識とスキルを習得させる。</p> <p>③ 教育学・心理学分野を牽引する研究者、情報社会を方向付ける研究者、海外研究機関研究者、国際機関職員、リサーチマインドをベースとする教員・管理職、教職大学院教員等指導者、大学のIR担当者やアドミッションオフィサー、教育委員会指導主事、SSH・SGH等の探究学習指導教員、スーパーバイザー、スクールカウンセラー、公認心理師、医療等心理職、企業等心理職、公務員心理職等</p>
既設学部等において養成する人材像	<p>【教育学環専攻】 ① 教育の原理や歴史、人間の生涯発達・学習の過程、それらを促進するための教育方法・学習環境のありかた、時間的及び空間的な広がり視野に入れた教育システムなどについて、諸科学からアプローチすることで、理論と実践とを融合し現代教育の諸問題を学際的・国際的に研究することのできる専門的に高度な識見と研究能力を養成し、教育の改革・改善に寄与することができる人材を養成する。また、専修コース(修士課程)においては、幅広い知識と柔軟な視野、確かな実践的能力を有する教育関係専門家を養成する。</p> <p>② 理論と実践とを融合し現代教育の諸問題を学際的・国際的に研究することのできる専門的に高度な識見と研究能力、専修コース(修士課程)においては、幅広い知識と柔軟な視野、確かな実践的知識やスキルを習得させる。</p> <p>③ 修了生は、修士(教育学)、博士(教育学)の学位を取得し、官公庁や企業等の上級管理職、大学等機関の研究者、国内の中学高校等の教員、教育委員会の指導主事等の職に就いている。</p> <p>【臨床教育学専攻】 ① 心と人間の課題に関わる諸科学を学び、人間存在や人間関係についての専門的に高度な識見と研究能力を養成することで、教育の個別性を重視し、個人が生き、悩む臨床の中で問題の解決にあたり、そこから教育の再構築を図ることができ、さらに心理臨床や教育実践に理論的かつ実践的に寄与することができる人材を養成する。また、学校教育、心理臨床、医療・福祉等の分野における現職の社会人に高度な教育や再教育を実施し、さらに高度な専門家を養成する。さらに、博士後期課程の臨床実践指導者養成コースでは、臨床心理士の有資格者でかつ多様な臨床経験を有する者を対象として、少人数教育により、さらに高度な専門的能力を身につけた指導者を養成する。</p> <p>② 心と人間の課題に関わる諸科学を学び、人間存在や人間関係についての専門的に高度な識見と研究能力、博士後期課程の臨床実践指導者養成コースでは、臨床心理士の有資格者でかつ多様な臨床経験を有する者にさらに高度な専門的能力を習得させる。</p> <p>③ 修了生は、修士(教育学)、博士(教育学)の学位を取得し、大学等機関の研究者、教職大学院教員、医療等心理職、企業等心理職、スクールカウンセラー、スーパーバイザー等の職に就いている。</p>
新設学部等において取得可能な資格	<p>【教育学環専攻】 ・中学校教諭専修免許状(社会) ・高等学校教諭専修免許状(地理歴史、公民) ① 国家資格 ② 資格取得可能 ③ 修了要件単位に含まれる科目の履修</p> <p>・臨床心理士 ① 財団法人日本臨床心理士資格認定協会の認定資格 ② 臨床心理士受検資格の取得可能 ③ 臨床心理学コースの修了要件単位に含まれる科目の履修</p>

既設学部等において取得可能な資格		【教育科学専攻】 ・中学校教諭専修免許状(社会) ・高等学校教諭専修免許状(地理歴史、公民) ① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 修了要件単位に含まれる科目の履修 【臨床教育学専攻】 ・臨床心理士 ① 財団法人日本臨床心理士資格認定協会の認定資格、② 臨床心理士受検資格の取得可能 ③ 心理臨床学領域の修了要件単位に含まれる科目の履修										
概新設学部等概要	新設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動元		助教以上
	教育学研究科 [Graduate School of Education]	教育学環専攻 Interdisciplinary Studies in Education (修士課程)	2	42	-	84	修士(教育学)	教育学・保育学関係	平成30年4月	教育学科学専攻	30	15
		教育学環専攻 Interdisciplinary Studies in Education (修士後期課程)	3	25	-	75	博士(教育学)	教育学・保育学関係	平成30年4月	臨床教育学専攻 新規採用	11 1	5 0
										計	42	20
										教育学科学専攻	30	15
									臨床教育学専攻 新規採用	11 1	5 0	
									計	42	20	
既設学部等の概要	既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動先		助教以上
	教育学研究科	教育学科学専攻(修士課程)(廃止)	2	28	-	56	修士(教育学)	教育学・保育学関係	平成10年4月	教育学環専攻	30	15
		臨床教育学専攻(修士課程)(廃止)	2	14	-	28	修士(教育学)	教育学・保育学関係	平成10年4月	教育学環専攻	11	5
		教育学科学専攻(博士後期課程)(廃止)	3	14	-	42	博士(教育学)	教育学・保育学関係	平成10年4月	教育学環専攻	30	15
		臨床教育学専攻(博士後期課程)(廃止)	3	11	-	33	博士(教育学)	教育学・保育学関係	平成10年4月	教育学環専攻	11	5
										計	30	15
										計	11	5
									計	30	15	
									計	11	5	
【備考欄】												

教育課程等の概要(事前伺い)

(大学院教育学研究科教育学環専攻)(修士課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
コース共通科目	基礎科目	教育科学基盤演習	1前	2				○				1					
		学際総合教育科学	1後	2				○			1						
		教育情報学特論	1前		2				○				1				
		Effective Learning Strategies (Advanced)	1前		2				○		1						
	グローバル教育科目(バーシタル)	国際合同授業Ⅰ(ベーシック)	1・2後		2				○			1				兼1	
		国際合同授業Ⅱ(ベーシック)	1・2後		2				○			1				兼1	
		国際教育研究フロンティアⅠ	1・2前		2				○		1						
		国際教育研究フロンティアⅡ	1・2前		2				○							兼1 集中	
		国際教育研究フロンティアⅢ	1・2前		2				○			1					
		国際インターンシップⅠ(ベーシック)	1・2前		1				○			1				集中	
		国際インターンシップⅡ(ベーシック)	1・2後		1				○			1	1			集中	
		国際フィールドワークⅠ(ベーシック)	1・2前		1				○			1	1			集中	
	国際フィールドワークⅡ(ベーシック)	1・2後		1				○			1	1			集中		
	プロジェクト科目	研究開発コロキウムⅠ	1・2前		2				○		2						
		研究開発コロキウムⅡ	1・2後		2				○		2						
	小計(15科目)	—	4	22	0			—		4	5	2	1	0	兼3 —		
高度専門科目	教育哲学・教育史学コース	教育哲学研究A	1前		2			○		1						コース指定科目	
		教育哲学研究B	1・2後		2			○		1						コース指定科目	
		教育史学研究A	1前		2			○		1	2					コース指定科目	
		教育史学研究B	1・2後		2			○		1	2					コース指定科目	
		教育学特論Ⅰ	1・2前		2			○								兼1	
		教育学特論Ⅱ	1・2後		2			○			1					集中	
		教育史特論Ⅰ	1・2前		2			○								兼1	
		教育史特論Ⅱ	1・2後		2			○								兼1	
		教育史特論Ⅲ	1・2前		2			○			1						
		教育史専門講読演習	1・2後		2				○		1						
		教育学専門講読演習A	1・2前		2				○			1					
		教育学専門講読演習B	1・2後		2				○		1						
		教育学演習Ⅰ	1・2前		2				○		1	1					
		教育学演習Ⅱ	1・2後		2				○		1						
		教育史演習ⅠA	1・2前		2				○			1					
		教育史演習ⅠB	1・2後		2				○			1					
		教育史演習ⅡA	1・2前		2				○		1						
		教育史演習ⅡB	1・2後		2				○		1						
	教育史専門演習ⅠA	1・2前		2				○			1						
	教育史専門演習ⅠB	1・2後		2				○			1						
	教育史専門演習ⅡA	1・2前		2				○		1							
	教育史専門演習ⅡB	1・2後		2				○		1							
	発達科学コース	教育方法学研究A	1前		2				○		1	1				コース指定科目	
教育方法学研究B		1・2後		2				○		1	1				コース指定科目		
発達科学研究Ⅰ		1・2後		2				○		1	1				コース指定科目		
発達科学研究Ⅱ		1・2後		2				○		1	1				コース指定科目		
教育方法学特論Ⅰ		1・2前		2				○		1							
教育方法学特論Ⅱ		1・2後		2				○			1						
教育方法学特論Ⅲ	1・2前		2				○							兼1 集中			
発達科学特論Ⅰ	1・2前		2				○		1	1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
発達科学コース	発達科学特論Ⅱ	1・2後		2		○			1	1						
	発達科学特論Ⅲ	1・2前		2		○									兼1 集中	
	教育方法学専門講読演習Ⅰ	1・2前		2			○				2				兼1	
	教育方法学専門講読演習Ⅱ	1・2後		2			○				2				兼1	
	発達科学講読上級演習	1・2前		2			○		1	1	2					
	教育方法学演習A	1・2前		2			○		1	1						
	教育方法学演習B	1・2後		2			○		1	1						
	発達科学演習Ⅰ	1・2前		2			○		1	1						
発達科学演習Ⅱ	1・2後		2			○		1	1							
臨床教育学コース	臨床教育学研究Ⅰ	1・2前		2			○		2	2					コース指定科目	
	臨床教育学研究Ⅱ	1・2後		2			○		2	2					コース指定科目	
	臨床教育学特論Ⅰ	1・2後		2		○									兼1 集中	
	臨床教育学特論Ⅱ	1・2後		2		○									兼1	
	臨床教育人間学特論Ⅰ	1・2前		2		○									兼1	
	臨床教育人間学特論Ⅱ	1・2前		2		○									兼1 集中	
	教育人間学講読演習Ⅰアドバンスト	1・2前		2			○			1		1				
	教育人間学講読演習Ⅱアドバンスト	1・2後		2			○			1		1				
	臨床教育学課題演習Ⅰ	1・2前		2			○									兼1 集中
	臨床教育学課題演習Ⅱ	1・2前		2			○									兼1 集中
	臨床教育学演習Ⅰ	1・2前		2			○		1							
	臨床教育学演習Ⅱ	1・2後		2			○			1						
	臨床教育人間学演習Ⅰ	1・2前		2			○		2	2		1				
	臨床教育人間学演習Ⅱ	1・2後		2			○		2	2		1				
高度専門科目	教育認知心理学研究A	1前		2			○		3	1					兼1 コース指定科目	
	教育認知心理学研究B	1・2後		2			○		3	1					兼1 コース指定科目	
	認知デザイン特論	1・2前		2		○			2	1					兼1 オムニバス	
	脳神経科学特論	1・2前		2		○									兼1	
	認知科学特論	1・2前		2		○									兼1	
	心理デザイン研究法特論	1・2前		2		○				1					兼1	
	認知心理学特論Ⅰ	1・2前		2		○									兼1	
	認知心理学特論Ⅱ	1・2後		2		○									兼1 集中	
	認知心理学特論Ⅲ	1・2後		2		○									兼1	
	認知心理学特論Ⅳ	1・2前		2		○									兼1	
	認知心理学特論Ⅴ	1・2後		2		○									兼1	
	認知心理学特論Ⅵ	1・2前		2		○									兼1	
	認知心理学特論Ⅶ	1・2前		2		○									兼1	
	認知心理学特論Ⅷ	1・2前		2		○									兼1	
	認知心理学特論Ⅸ	1・2前		2		○									兼1 集中	
	認知心理学特論Ⅹ	1・2前		2		○									兼1	
	教育心理学特論	1・2前		2		○									兼1 集中	
	社会認知論	1・2前		2		○									兼1	
	教育心理学講読演習Ⅰ	1・2後		2			○								兼1	
	教育心理学講読演習Ⅱ	1・2後		2			○								兼1 集中	
	教育認知心理学演習A	1・2前		2			○								兼1	
	教育認知心理学演習B	1・2後		2			○								兼1	
	認知過程論演習A	1・2前		2			○								兼1	
	認知過程論演習B	1・2後		2			○								兼1	
	学習・思考論演習A	1・2前		2			○			1						
	学習・思考論演習B	1・2後		2			○			1						
	記憶・認知論演習A	1・2前		2			○			1						
	記憶・認知論演習B	1・2後		2			○			1						
感情・システム生命論演習A	1・2前		2			○				1						
感情・システム生命論演習B	1・2後		2			○				1						
学習デザイン論演習A	1・2前		2			○			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考						
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手							
教育認知心理学	学習デザイン論演習B	1・2後		2				○		1										
	心理データ解析演習	1・2前		2				○		1	1									
	心理デザイン研究法演習	1・2前		2				○			1					兼2				
	認知科学英語演習	1・2後		2				○								兼1				
	認知科学演習	1・2後		2				○								兼1				
高度専門科目 臨床心理学コース	心理臨床学研究	1・2通		4				○		1						兼2	コース指定科目			
	臨床心理実践学研究	1・2通		4				○		1	1						コース指定科目			
	司法・矯正心理臨床概論	1・2後		2				○									兼1			
	自己と関係性の発達	1・2前		2				○										兼1		
	臨床心理学特論Ⅰ	1・2後		2				○			1							隔年開講		
	臨床心理学特論Ⅱ	1・2後		2				○		1								隔年開講		
	心理療法特論	1・2後		2				○									兼1	集中 隔年開講		
	心理臨床学特論	1・2前		2				○			1							隔年開講		
	心理臨床倫理・関連法規特論	1・2前		2				○		1	1							集中		
	子どもの心理療法	1・2前		2				○									兼1	集中		
	臨床心理面接特論Ⅰ	1・2前		2				○		1								兼1		
	臨床心理面接特論Ⅱ	1・2後		2				○		1								兼1		
	臨床心理実践学特論	1・2前		2				○										兼1	集中	
	臨床心理学講義演習Ⅰ	1・2前		2					○										兼1	
	臨床心理学講義演習Ⅱ	1・2前		2					○										兼1	
	心理臨床学講義演習Ⅰ	1・2前		2					○	1									兼2	
	心理臨床学講義演習Ⅱ	1・2後		2					○										兼3	
	心理臨床学コロキウムⅠ	1・2前		2					○										兼5	
	心理臨床学コロキウムⅡ	1・2後		2					○										兼5	
	臨床研究開発コロキウム	1・2通		4					○	3	2								兼2	
	心理臨床ケースカンファレンスⅠ	1・2前		2					○	1	1									
	心理臨床ケースカンファレンスⅡ	1・2前		2					○	1									兼1	
	心理臨床ケースカンファレンスⅢ	1・2前		2					○		1								兼1	隔年開講
	心理臨床ケースカンファレンスⅣ	1・2後		2					○	1	1									
	心理臨床ケースカンファレンスⅤ	1・2後		2					○	1										
	心理臨床ケースカンファレンスⅥ	1・2後		2					○		1							兼1	隔年開講	
	現場実践ケースカンファレンスⅠ	1・2前		2					○		1								兼1	
	現場実践ケースカンファレンスⅡ	1・2後		2					○		1								兼1	
	インタークカンファレンス	1・2通		4					○	3	2								兼2	
	臨床心理査定演習Ⅰ	1・2前		2					○		1									
	臨床心理査定演習Ⅱ	1・2後		2					○		1								兼1	
	教育現場演習	1・2通		2					○	1									兼4	
	グループ・カウンセリング演習Ⅰ	1・2前		2					○	1									兼1	
グループ・カウンセリング演習Ⅱ	1・2後		2					○	1									兼1		
臨床心理学研究法実習Ⅰ	1・2前		1					○										兼1		
臨床心理学研究法実習Ⅱ	1・2後		1					○										兼1		
臨床心理基礎実習Ⅰ	1・2前		1					○	1									兼1		
臨床心理基礎実習Ⅱ	1・2後		1					○	1	1										
臨床心理実習	1・2通		2					○	3	2								兼2		
病院実習	1・2通		2					○										兼2		
臨床人間形成学実習Ⅰ	1・2前		1					○										兼1	集中	
臨床人間形成学実習Ⅱ	1・2前		1					○										兼1	集中	
臨床人間形成学実習Ⅲ	1・2通		2					○										兼2		
ケーススーパーヴィジョンⅠ	1・2後		2					○	3	2								兼2		
ケーススーパーヴィジョンⅡ	1・2前		2					○	3	2								兼2		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手			
高度専門科目	教育社会学研究ⅠA	1前		2				○			1	1				コース指定科目
	教育社会学研究ⅠB	1・2後		2				○			1	1				コース指定科目
	教育社会学研究ⅡA	1前		2				○			1	1				コース指定科目
	教育社会学研究ⅡB	1・2後		2				○			1	1				コース指定科目
	メディア文化学研究A	1前		2					○		1					コース指定科目
	メディア文化学研究B	1・2後		2					○		1					コース指定科目
	歴史社会学Ⅰ	1・2前		2					○							兼1 集中
	歴史社会学Ⅱ	1・2後		2					○							兼1 集中
	青年社会学	1・2後		2					○							兼1 集中
	教育社会学特論Ⅰ	1・2前		2					○		1					
	教育社会学特論Ⅱ	1・2後		2					○			1				
	臨床社会学特論	1・2後		2					○							兼1 集中
	教育社会システム論	1・2前		2					○							兼1 集中
	社会学特論Ⅰ	1・2前		2					○							兼1
	社会学特論Ⅱ	1・2前		2					○							兼1
	社会学特論Ⅲ	1・2後		2					○							兼1
	社会学特論Ⅳ	1・2後		2					○							兼1
	文化社会学特論	1・2後		2					○			1				
	現代教育社会学特論	1・2前		2					○			1				
	教育社会学専門講読演習	1・2前		2					○		1					
	生涯教育文化情報専門講読演習	1・2前		2					○							兼1
	教育社会学研究法演習Ⅰ	1・2通		4					○		1	1				
	教育社会学研究法演習Ⅱ	1・2通		4					○		1	1				
	生涯教育学演習ⅡA	1・2前		2					○		1					
	生涯教育学演習ⅡB	1・2後		2					○		1					
	メディア文化学研究法演習Ⅰ	1・2前		2					○		1					
	メディア文化学研究法演習Ⅱ	1・2後		2					○		1					
	図書館情報学研究法演習Ⅰ	1・2前		2					○				1			
	図書館情報学研究法演習Ⅱ	1・2後		2					○				1			
	臨床社会学演習	1・2前		2					○							兼1 集中
	社会調査研究法Ⅰ	1・2前		2					○		1					
	社会調査研究法Ⅱ	1・2後		2					○		1					
	教育社会学専門演習Ⅰ	1・2前		2					○		1					
	教育社会学専門演習Ⅱ	1・2後		2					○			1				
比較教育政策学コース	比較教育政策学研究Ⅰ	1・2前		2				○			1				コース指定科目	
	比較教育政策学研究Ⅱ	1・2後		2				○		1					コース指定科目	
	生涯教育学研究Ⅰ	1・2前		2				○		1					コース指定科目	
	生涯教育学研究Ⅱ	1・2後		2				○		1					コース指定科目	
	教育行政学特論	1・2後		2				○							兼1	
	教育経営学特論Ⅰ	1・2前		2				○							兼1 集中	
	教育経営学特論Ⅱ	1・2前		2				○							兼1	
	比較教育学特論Ⅰ	1・2前		2				○		1						
	比較教育学特論Ⅱ	1・2後		2				○		1						
	比較教育学特論Ⅲ	1・2前		2				○			1					
	比較教育学特論Ⅳ	1・2前		2				○								兼1
	比較教育政策学専門講読演習	1・2前		2					○							兼1
	比較教育学演習Ⅰ	1・2通		4					○		2					
	比較教育学演習Ⅱ	1・2通		4					○		2					
	教育政策学演習ⅠA	1・2前		2					○			1				
	教育政策学演習ⅠB	1・2後		2					○			1				
	教育政策学演習ⅡA	1・2前		2					○			1				
	教育政策学演習ⅡB	1・2後		2					○			1				
	教育政策形成論Ⅰ	1・2後		2					○			1				
	教育政策形成論Ⅱ	1・2後		2					○			1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
高度専門科目	比較教育政策学コース・教育学文化学コース（共通）	生涯教育学特論Ⅰ	1・2前	2		○									兼1	
		生涯教育学特論Ⅱ	1・2前	2		○									兼1	集中
		図書館情報学特論Ⅰ	1・2前	2		○									兼1	集中
		図書館情報学特論Ⅱ	1・2後	2		○									兼1	集中
		メディア文化学特論Ⅰ	1・2前	2		○									兼1	集中
		メディア文化学特論Ⅱ	1・2後	2		○									兼1	
		生涯教育学専門講読演習	1・2前	2				○							兼1	
		図書館情報学専門講読演習	1・2後	2				○				1				
		生涯教育学演習ⅠA	1・2前	2				○		1						
		生涯教育学演習ⅠB	1・2後	2				○		1						
		図書館情報学演習Ⅰ	1・2前	2				○				1				
		図書館情報学演習Ⅱ	1・2後	2				○				1				
		メディア文化学演習Ⅰ	1・2前	2				○		1						
	メディア文化学演習Ⅱ	1・2後	2				○		1							
	高等教育学コース	高等教育開発論研究A	1前		2			○		3	3				兼1	コース指定科目 オムニバス
		高等教育開発論研究B	1・2後		2			○		3	3				兼1	コース指定科目 オムニバス
		高等教育開発論基礎	1・2前		2		○			3	3				兼1	オムニバス
		青年期の自己・アイデンティティ形成	1・2後		2		○			1						隔年開講
		教育工学	1・2後		2		○				1				兼1	隔年開講
		高等教育専門講読演習	1・2前		2			○			2					
		高等教育システム演習	1・2前		2			○		1	2					
		高等教育方法演習A	1・2前		2			○		1						
		高等教育方法演習B	1・2後		2			○		1						
高等教育研究法A		1・2前		2			○			1						
高等教育研究法B	1・2後		2			○			1							
高等教育総合演習	1・2前		2			○							兼1	集中		
大学で教えるということ	1・2後		2			○		1	2					集中		
小計（215科目）	—	0	440	0		—		20	17	2	3	0	兼84	—		
養成プログラム	教育実践指導基礎理論Ⅰ	1前		2			○		1	1						
	教育実践指導基礎理論Ⅱ	1後		2			○		1	1						
	小計（2科目）	—	0	4	0		—		1	1	0	0	0		—	
学位又は称号	修士論文	2通	—				○		20	17	2	0	0	兼3		
	小計（1科目）	—	0	0	0		—		20	17	2	0	0	兼3	—	
合計（233科目）		—	4	466	0		—		20	17	2	3	0	兼84	—	
学位又は称号	修士（教育学）		学位又は学科の分野			教育学・保育学関係										

I 設置の趣旨・必要性

【背景】

1. 京都大学大学院教育学研究科は、教育学、教育方法学、教育認知心理学、教育社会学、生涯教育学、比較教育政策学、高等教育開発論、臨床教育学、心理臨床学、臨床心理実践学の教育研究を、教育科学専攻(6基幹講座、1協力講座)と臨床教育学専攻(3基幹講座、1協力講座)の11領域において、専門的かつ総合的に行ってきた。その成果として、高度な研究能力及び専門知識を備えた大学教員、国、地方公共団体、民間の研究機関の研究者や教職大学院、教育委員会等における指導的役割を担う実践的指導者、公務員心理職、スクールカウンセラー、医療機関、企業等の心理専門職で活躍する人材を輩出してきた。

2. 本研究科では、約20年前に専攻の再編を行い、上述の2専攻に研究者養成、高度な専門職業人養成などのコースを設置し、社会等の求める人材養成を行ってきたが、これは当時先駆的なことであった。しかし、その後、少子高齢化、高度情報化、国際化、変化の激しい経済状況などを背景とした教育・行政機関、産業・医療界、社会からの要請など、教育を取り巻く状況も大きく変化し、本研究科の教育組織とは必ずしも合わなくなっている。

現在、知のフラット化・グローバル化の進展や人工知能等を含む技術革新のなかで、人間と教育についての根底的な問い直しが求められている。このことに対応しうる研究者・実践指導者の養成は、喫緊の課題である。こうした課題に応えるためには、専門分野の高度な知見と同時に、専門分野の壁を超えた幅広い識見の両方を視野に入れ、新しい領域を開拓しうる教育研究体制が必要である。

【必要性】

1. このような状況を踏まえ、本研究科においては、今後は家庭、学校、地域、社会、世界といった多重の連環を意識し、専門性と視野の広さを兼ね備えた質の高い人材の育成にさらに取り組む。そのためには、これまで蓄積してきた教育研究実績を基礎としつつも、より柔軟かつ横断的な「教育研究体制」、「教育方法」、「往還型教育研究を実施する上での組織」の見直しが必要である。

そこで、①養成する人材像の明確化、②より質の高い研究者養成、教育実践指導者、グローバル人材養成のための科目の整備、③教育目標や3つのポリシーに即した研究・教育体制への再編の3つを主な方針として、高度な専門知識及び研究能力を育成するとともに、グローバルな視野で思考し活躍できる能力を備えた人材養成を目標とする研究科へと再編する。

2. なお、他大学や社会人からの博士後期課程進学者は、本研究科が行う往還型教育研究について未経験であるため、当該学生の成長のためにもいち早い対応が求められること、また、同時改組により、本構想の目的である「高度な専門知識及び研究能力を育成するとともに、グローバルな視野で思考し活躍できる能力を備えた人材養成」の早期実現へと繋げるために、本改組は修士課程と博士後期課程にて平成30年度に同時実施する。

【期待される効果】

1. 再編に際しては、上述のさまざまな変化に迅速に対応でき、世界水準の研究成果・教育成果を国内外へ発信し続ける高度な人材の輩出を念頭に、それぞれの専門領域を基本としつつも幅広い視点から「理論と実践の往還」、「文理を超えた他分野・他領域との往還」、「探究的で対話型の往還的教育」をより明確かつ重視した連環性・柔軟性のある教育研究体制とすることが必要である。

このことから、これまでの「教育科学専攻」、「臨床教育学専攻」2専攻(11講座)を発展的に解消・統合し、新たに「教育学環(キョウイクガク カン)専攻」(Interdisciplinary Studies in Education)1専攻(5講座)を設置する。これにより、多様化する教育学研究科内の関連諸領域や、他研究科・センター、国内外の研究機関など、教育研究における本研究科内外との相互連携を促進する。また、その成果を広く学校や社会に発信し、その発信した結果をさらに研究へフィードバックさせることによって、社会と本研究科の教育研究における相互的な“環”を形成し、今後、教育学を取り巻く状況の変化等にも対応できる総合的かつ高度な教育研究を行う。

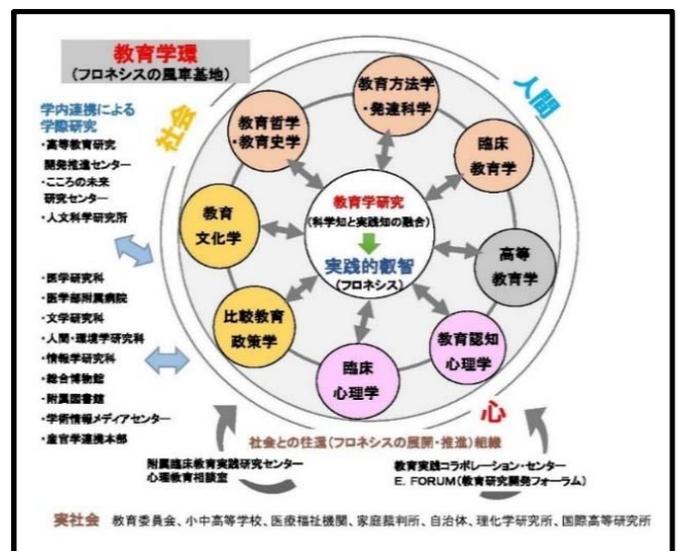
2. 「教育学環専攻」の3つのミッションは、以下のとおりである。

①心・人間・社会をつなぐ学際的な「科学知」と、実社会における「実践知」を融合し、「実践的叡智“フロネシス”」を獲得するために、教育学研究科と実社会を繋ぐ役割を果たす往還型教育システムを構築する。

②実践的叡智を身に付けた国際水準の研究者と実践指導者(知のプロフェッショナル)、さらに未来の教育をデザインしうる教育イノベーターを育成・輩出する。

③人間の生涯に渡る、あらゆる時代、あらゆる場面において新たな風を創出し、現場が抱えるさまざまな問題解決に貢献する。

これら本研究科の3つのミッションを達成するために、研究・教育・社会貢献の連結によるスパイラル(環)を支え、新しい学問領域を創出し得る教育研究拠点を形成する。



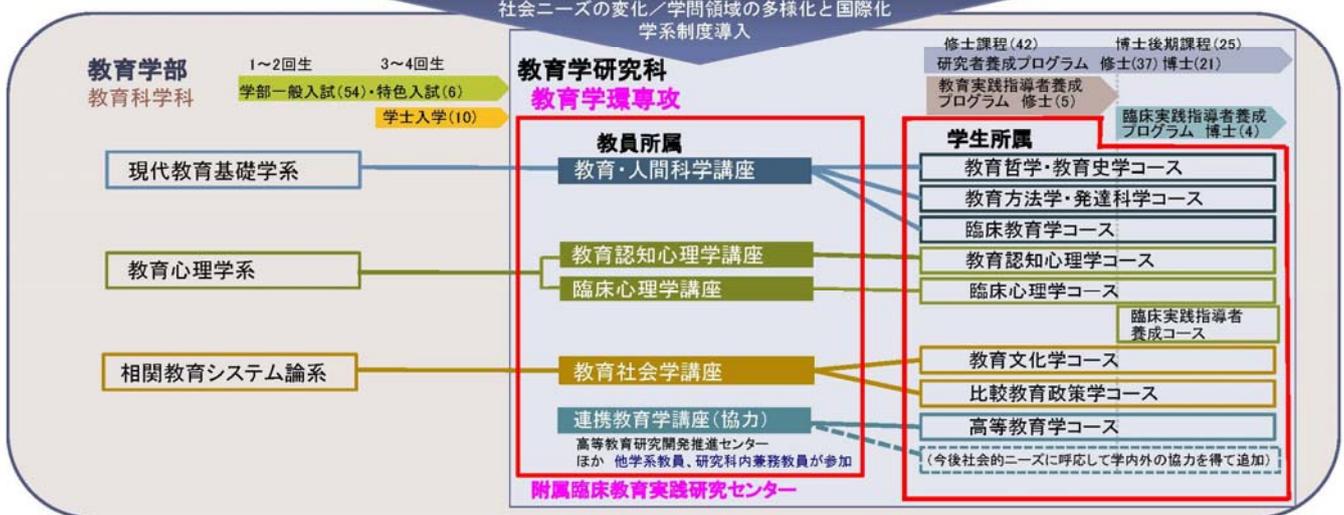
同専攻を次の5つの領域区分を主とした研究教育組織（講座）とすることにより、教員は関連学術分野で有機的かつ柔軟な連携が可能となり、社会ニーズに応じた教育研究の活性化を図ることができる。

また、学生の所属について、従前の「研究者養成コース（教育科学専攻・臨床教育学専攻）」と「専修コース（教育科学専攻）」・「第2種（臨床教育学専攻）」から前者は「研究者養成プログラム」、後二者は「教育実践指導者養成プログラム」へと学修プログラムの目的別に分け、プログラム直下に専門性と出口を明確にした8つの学生所属専門コースを新たに設置することにより、学生は早い段階から適切な学修が可能となる。

さらに他領域の教育も受けることで、より幅広い知識や能力を身につけることができ、社会の多様な課題に対応できる高度かつ柔軟的な資質を備えたリーダーとなることが期待できる。

- (教員が所属する組織) (領域名) (学生が所属する組織)
- (1) 教育・人間科学講座 ⇨ 教育・人間科学領域 ⇨ 教育哲学・教育史学コース、教育方法学・発達科学コース、臨床教育学コース
 - (2) 教育認知心理学講座 ⇨ 教育認知心理学領域 ⇨ 教育認知心理学コース
 - (3) 臨床心理学講座 ⇨ 臨床心理学領域 ⇨ 臨床心理学コース
 - (4) 教育社会学講座 ⇨ 教育社会学領域 ⇨ 教育文化学コース、比較教育政策学コース
 - (5) 連携教育学講座 ⇨ 連携教育学領域 ⇨ 高等教育学コース

教育研究組織の再編成の内容



II 教育課程編成の考え方・特色

(教育課程の基本的な考え方)

新たに設置する教育学環専攻は、実践的叡智を身に付けた最先端の研究者、未来の教育をデザインしうる実践指導者、教育イノベーター(知のプロフェッショナル)を養成する。①自発的な探究力を養い、異分野交流による理論・実践往還型研究を通して新学術領域を担いうる能力、②高度な語学力、国際的発信能力、学術論文や学会発表などにより国内外に研究成果を発信し、学界をリードしうる能力、③社会的問題の解決に資する、高度な教育・心理の専門能力とリサーチマインドを持ちながら、現実の社会のさまざまなところで真に必要とされている処方箋を描き、イノベーションを起こす能力を育成すべく、研究者養成プログラム及び教育実践指導者養成プログラムを履修させるにあたり、所属する教育コースとして、(1)教育哲学・教育史学コース、(2)教育方法学・発達科学コース、(3)臨床教育学コース、(4)教育認知心理学コース、(5)臨床心理学コース、(6)教育文化学コース、(7)比較教育政策学コース、(8)高等教育学コースを設定する。

本専攻に入学した学生は、コース共通として設定された自発性や国際的能力を身につけることを目的とした科目やそれぞれのコースにおいて体系づけられた専門科目を履修する。さらに、所属コース以外の専門科目も履修することによって、それぞれの目指す方向に必要な高度な専門的能力のみならず幅をもった多様な課題に対応が可能となる能力をバランスよく身につけることができる。このような構成とすることにより、専攻が目標とする人材育成を実現するプログラムを構築する。

なお、平成29年度以前の入学者に対しては、新専攻に設置の科目が履修できるように、カリキュラム体系及び履修方法について便覧やホームページ等で明示することや、指導教員や事務部の教務担当掛が説明を行い、入学年次毎にカリキュラムを対応させることで、混乱することなく履修できるため、支障をきたすことはない。

(教育課程の特色)

1. 修士課程2年のカリキュラムは、コース共通科目として、「基盤科目」、「グローバル教育科目(ベーシック)」、「プロジェクト科目」、それぞれの所属コースを基礎とする専門分野の科目として「高度専門科目(演習を含む)」、さらに教育実践指導者を目指す者に特化した「教育実践指導者養成プログラム科目」から構成される。

特に、コース共通科目は、教育科学の先端的課題を学際的・領域横断的に広く学ぶことにより、広い視野と異質なものへの理解や多面的・総合的な思考力と批判的判断力の基礎を身につけることができることから、入学者にとって重要な科目の位置づけとしている。

2. コース共通科目は、研究者や実践指導者に求められる不可欠な能力を育成するため、実践的なスキルから学際的な課題探究まで、ベーシックからアドバンスへと段階的に配置する。

【基盤科目】(2科目・必修、2科目・選択)

基盤科目は、アカデミック・ライティング、基盤となる研究手法、研究倫理など、研究の基盤的なスキルを育成することを目的とした「教育科学基盤演習」と、教育学の各領域、他の学問領域、科学コミュニケーション、社会との連携を視野に入れ、入門レベルの探究手法・学際的な視野と方法論を身につけることを目的とした「学際総合教育科学」を設定する。さらに、研究に必要な教育情報学のスキルを身につけるための「教育情報学特論」及び英語によるアカデミックなコミュニケーションスキルを身につけるための「Effective Learning Strategies (Advanced)」を選択科目として設定する。

【グローバル教育科目(ベーシック)】(9科目・選択)

国際的な視野で研究・実践を行うためのベーシックなスキルを身につけることを目的として、以下の9科目を設定する。

「国際合同授業Ⅰ(ベーシック)」(ロンドン大学との合同授業)、「国際合同授業Ⅱ(ベーシック)」(ドルトムント工科大学との合同授業)、「国際教育研究フロンティアⅠ」、「国際教育研究フロンティアⅡ」、「国際教育研究フロンティアⅢ」(英語によるアカデミック・ライティングや英語プレゼンテーションを含む)、「国際インターンシップⅠ(ベーシック)」、「国際インターンシップⅡ(ベーシック)」、「国際フィールドワークⅠ(ベーシック)」、「国際フィールドワークⅡ(ベーシック)」

【プロジェクト科目】(2科目・選択)

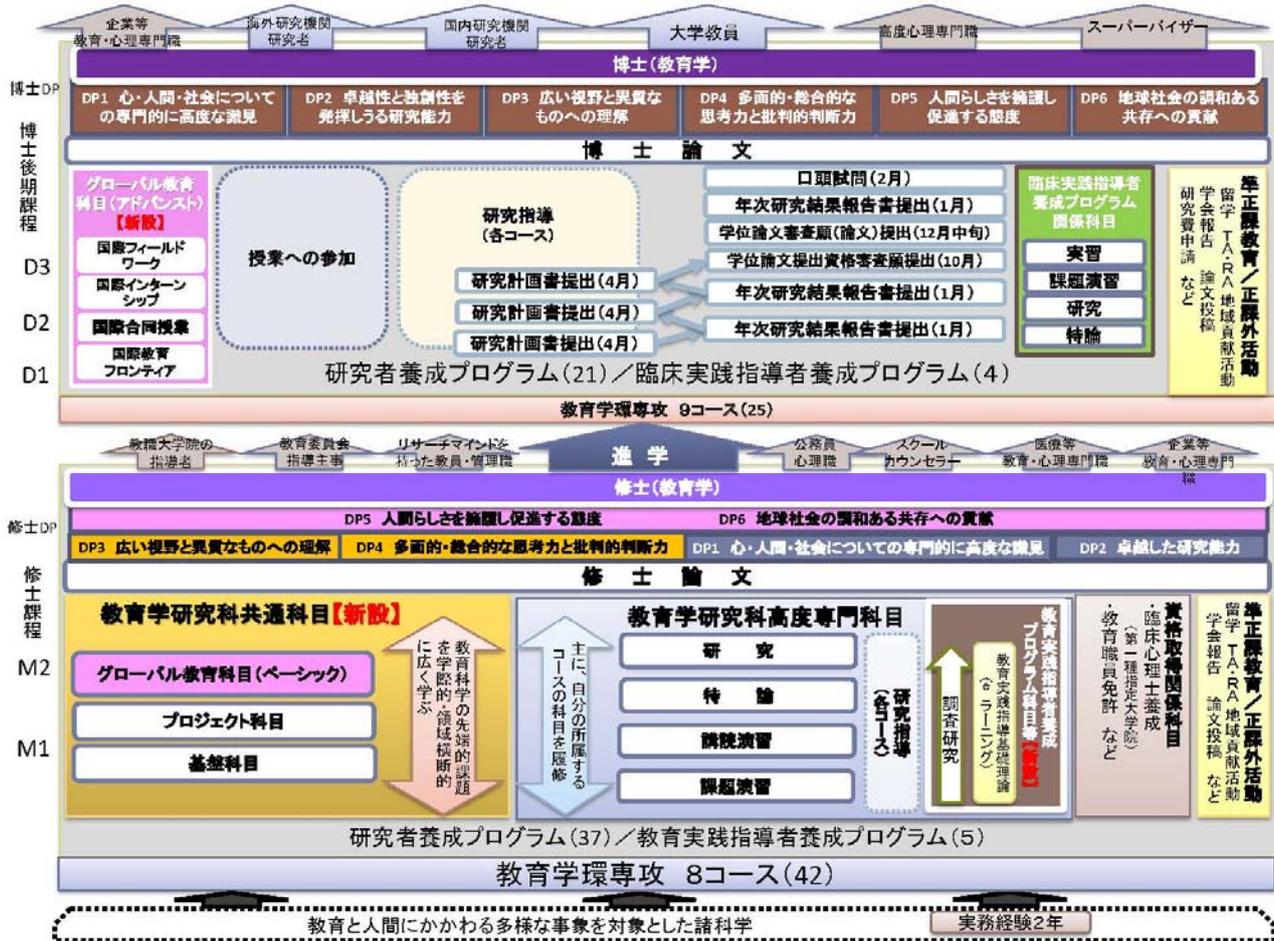
プロジェクト科目として、教育学の先端的課題について、学生主導で探究することを目的とした「研究開発コロキウムⅠ」、「研究開発コロキウムⅡ」を設定する。

3. 高度専門科目(演習を含む)は、より深い専門的知識、課題設定能力、研究成果に関する発表能力を育成することを目的として、各コースの特色ある研究分野に応じて設定する。

なお、学際的、領域横断的な教育を実質化し、他コースの授業科目を積極的に受講できるよう他コースの副指導教員を設定する。

4. 教育実践指導者養成プログラム科目は、教育実践において指導的役割を果たしていく上で必要な学校マネジメントやカリキュラムの開発・評価に関する最新の知見を獲得し、スクールリーダーとして中核を担っていく力量の基礎を形成することを目的とした、「教育実践指導基礎理論Ⅰ」と「教育実践指導基礎理論Ⅱ」を必須科目として設定する。

【改組後のカリキュラムイメージ】



卒業要件及び履修方法		授業期間等	
修士課程（研究者養成プログラム） コース共通科目の必修科目4単位、基盤科目、グローバル教育科目（ベーシック）、プロジェクト科目の選択科目から2単位以上（推奨）、高度専門科目の選択科目（他コースの高度専門科目含む）から所属コースの指定科目4単位以上を含む24単位以上の合計30単位以上を修得し、研究指導を受け、修士論文の審査及び試験に合格すること。	1 学年の学期区分	2学期	
	1 学期の授業期間	15週	
	1 時限の授業時間	90分	
修士課程（教育実践指導者養成プログラム） コース共通科目の必修科目4単位、基盤科目、グローバル教育科目（ベーシック）、プロジェクト科目の選択科目から2単位以上（推奨）、高度専門科目の選択科目（他コースの高度専門科目含む）から所属コースの指定科目4単位以上及び教育実践指導者養成プログラム科目4単位を含む24単位以上の合計30単位以上を修得し、研究指導を受け、修士論文の審査及び試験に合格すること。			

教育課程等の概要(事前伺い)

(大学院教育学研究科教育学環専攻)(博士後期課程)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	グローバル教育科目 (アドバンスト)	国際合同授業Ⅰ(アドバンスト)			2		○			1					兼1	
		国際合同授業Ⅱ(アドバンスト)			2		○			1					兼1	
		国際教育研究フロンティアⅠ			2		○		1							
		国際教育研究フロンティアⅡ			2		○								兼1	集中
		国際教育研究フロンティアⅢ			2		○			1						
		国際インターンシップⅠ(アドバンスト)			1			○		1	1					集中
		国際インターンシップⅡ(アドバンスト)			1			○		1	1					集中
		国際フィールドワークⅠ(アドバンスト)			1			○		1	1					集中
		国際フィールドワークⅡ(アドバンスト)			1			○		1	1					集中
		小計(9科目)		0	0	14				1	4	2	0	0	兼3	—
FD科目 大学院生	大学で教えるということ	1・2後			2		○		1	1					集中	
		小計(1科目)		0	0	2			1	1	0	0	0		—	
高度専門科目	臨床実践指導学ⅠA	1前		2			○		1	1						
	臨床実践指導学ⅠB	1後		2			○		1	1						
	臨床実践指導学ⅡA	2前		2			○		1	1						
	臨床実践指導学ⅡB	2後		2			○		1	1						
	臨床実践指導学ⅢA	3前		2			○		1	1					隔年開講	
	臨床実践指導学ⅢB	3後		2			○		1	1					隔年開講	
	臨床実践指導学	1・2・3後		2			○		1	1				兼1	集中	
	臨床実践指導学特論Ⅰ	1・2・3前		2		○			1	1					隔年開講	
	臨床実践指導学特論Ⅱ	1・2・3後		2		○			1	1					隔年開講	
	臨床実践ケースカンファレンスⅠA	1・2・3前		2			○		1	1						
	臨床実践ケースカンファレンスⅡB	1・2・3後		2			○		1	1						
	臨床実践アフターカンファレンスⅠA	1・2・3前		1				○	1	1						
	臨床実践アフターカンファレンスⅡB	1・2・3後		1				○	1	1						
	臨床実践指導学実習	1・2・3通		2				○	3	2				兼2		
	臨床実践フィールド演習	1・2・3通		4				○	1	1						
小計(15科目)		0	30	0				3	2	0	0	0	兼3	—		
	博士論文	3通					○	20	17	2	0	0	兼3			
	小計(1科目)		0	0	0			20	17	2	0	0	兼3			
合計(26科目)			0	30	16			20	17	2	0	0	兼6	—		
学位又は称号	博士(教育学)		学位又は学科の分野				教育学・保育学関係									

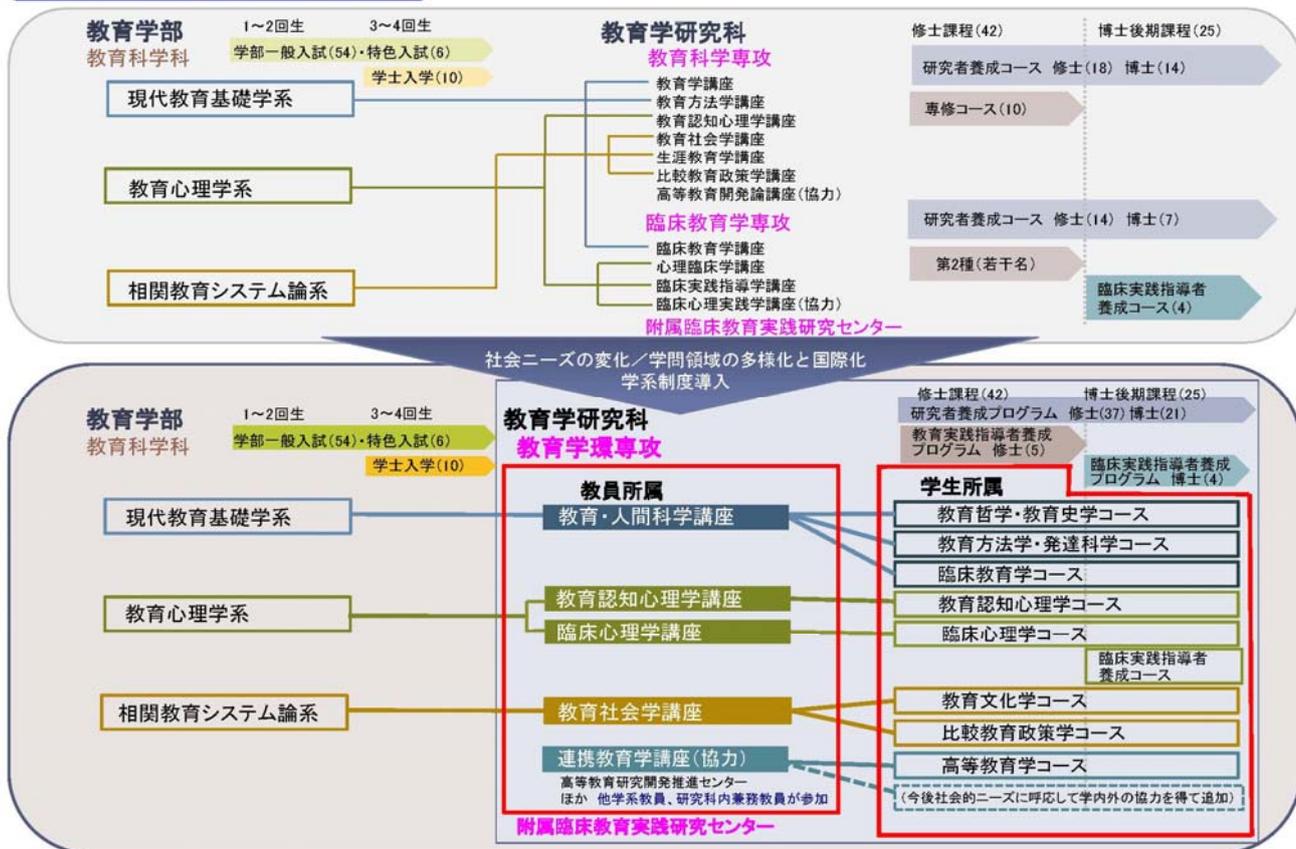
同専攻を次の5つの領域区分を主とした研究教育組織（講座）とすることにより、教員は関連学術分野で有機的かつ柔軟な連携が可能となり、社会ニーズに応じた教育研究の活性化を図ることができる。

また、学生の所属について、従前の「研究者養成コース（教育科学専攻・臨床教育学専攻）」と「臨床実践指導者養成コース」から前者は「研究者養成プログラム」、後者は「臨床実践指導者養成プログラム」として学修プログラムの目的別に分け、プログラム直下に専門性と出口を明確にした9つの学生所属専門コースの設置により、学生は早い段階から適切な学修が可能となる。

さらに他領域の教育も受けることで、より幅広い知識や能力を身につけることができ、社会の多様な課題に対応できる高度かつ柔軟な資質を備えたリーダーとなることが期待できる。

- | | | |
|--------------|------------|--------------------------------------|
| (教員が所属する組織) | (領域名) | (学生が所属する組織) |
| (1)教育・人間科学講座 | ⇔教育・人間科学領域 | ⇔教育哲学・教育史学コース、教育方法学・発達科学コース、臨床教育学コース |
| (2)教育認知心理学講座 | ⇔教育認知心理学領域 | ⇔教育認知心理学コース |
| (3)臨床心理学講座 | ⇔臨床心理学領域 | ⇔臨床心理学コース、臨床実践指導者養成コース（博士のみ） |
| (4)教育社会学講座 | ⇔教育社会学領域 | ⇔教育文化学コース、比較教育政策学コース |
| (5)連携教育学講座 | ⇔連携教育学領域 | ⇔高等教育学コース |

教育研究組織の再編成の内容



II 教育課程編成の考え方・特色

(教育課程の基本的な考え方)

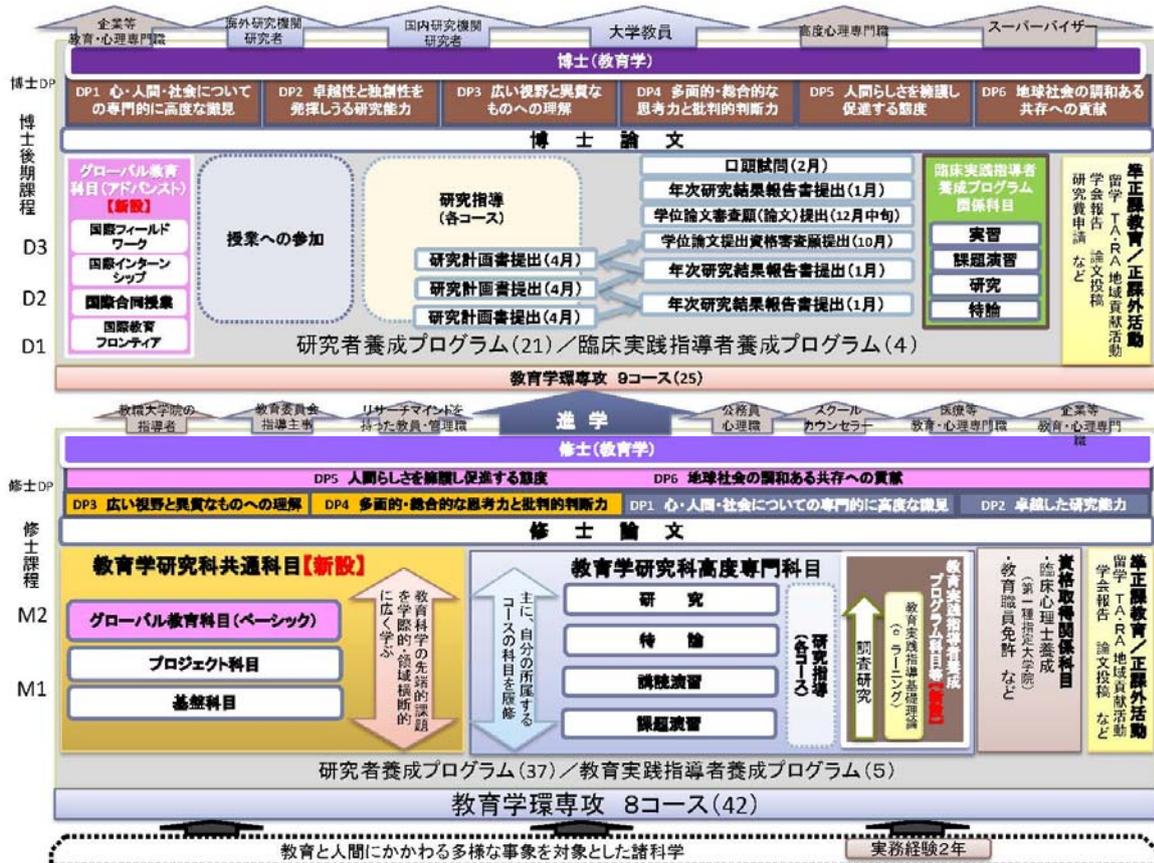
新たに設置する教育学環専攻は、実践的叡智を身に付けた最先端の研究者、未来の教育をデザインしうる教育イノベーターとしての実践指導者（知のプロフェッショナル）を養成する。①自発的な探究力を養い、異分野交流により理論・実践融合型研究を通して新学術領域を担う能力、②高度な語学力、国際的発信能力、学術論文や学会発表などにより国内外に研究成果を発信し、学界をリードする能力、③社会的問題の解決に資する、高度な教育・心理の専門能力とリサーチマインドを持ち、現実の社会のさまざまなところで真に必要なとされている処方箋を描き、イノベーションを起こす能力を育成すべく、研究者養成プログラム及び臨床実践指導者養成プログラムを履修させるにあたり、所属する教育コースとして、(1)教育哲学・教育史学コース、(2)教育方法学・発達科学コース、(3)臨床教育学コース、(4)教育認知心理学コース、(5)臨床心理学コース、(6)教育文化学コース、(7)比較教育政策学コース、(8)高等教育学コース、(9)臨床実践指導者養成コース（博士のみ）を置く。本専攻に入学した学生は、所属コースにおいて、特定の専門的研究分野についての研究題目を毎年年度計画書により提出し、指導教員より研究指導を受けることにより、高度な専門的知識を積み上げ、前述の能力についての評価及び研究指導認定を得た上で、博士論文の審査及び試験に合格することにより博士（教育学）が授与される。なお、臨床実践指導者養成プログラム（博士のみ）所属の学生は、臨床心理士資格を取得していることに鑑み、より高度かつ実践的な専門科目を履修し、単位を修得しなければならない。また、高等教育レベルの高度な教育スキルを身につけることを目的とした科目や国際的な視野で研究・実践を行うための高度なスキルを身につける科目を設定し、専攻が目標とする人材養成を実現するプログラムを構築する。

なお、平成29年度末で旧専攻の修士課程を修了した学生に対しては、新専攻の博士後期課程に進学する際にカリキュラム体系及び履修方法について便覧やホームページ等で明示することや、指導教員や事務部の教務担当掛が説明を行い、入学年度毎にカリキュラムを対応させること、また臨床実践指導者養成プログラムについては、従前の臨床実践指導者養成コースと卒業要件及び履修方法に変更はないことから、混乱することなく履修できるため、支障をきたすことはない。

(教育課程の特色)

1. 博士課程後期3年は、より高度かつ専門的な能力を着実に身につけるために、年度当初に研究題目、研究計画等を明確にした「年度研究計画書」を提出させ、研究指導を実施し、年度末に研究の進捗状況を「年次研究結果報告書」として求め、評価を行う。
2. 臨床実践指導者養成コース〈博士のみ〉には、「臨床実践ケースカンファレンス」や「臨床実践フィールド演習」等の臨床実践指導者として必要な高度かつ専門的な能力を身につけることを目的とした科目を設定し、20単位を修得させる。
3. 高等教育レベルの高度な教育スキルを身につけることを目的とした「大学院生FD科目」や国際的な視野で研究・実践を行うためのより高度なスキルを身につけることを目的にグローバル教育科目（アドバンスト）として「国際合同授業Ⅰ（アドバンスト）」（ロンドン大学との合同授業）、「国際合同授業Ⅱ（アドバンスト）」（ドルトムント工科大学との合同授業）、「国際教育研究フロンティアⅠ」、「国際教育研究フロンティアⅡ」、「国際教育研究フロンティアⅢ」（英語によるアカデミック・ライティングや英語プレゼンテーションを含む）、「国際インターンシップⅠ（アドバンスト）」、「国際インターンシップⅡ（アドバンスト）」、「国際フィールドワークⅠ（アドバンスト）」、「国際フィールドワークⅡ（アドバンスト）」を設定する。なお、本科目は、それぞれの学生が研究内容、修了後の進路等にあわせて、選択できることとしている。

【改組後のカリキュラムイメージ】



卒業要件及び履修方法		授業期間等	
博士後期課程（研究者養成プログラム） 3年間在学し、研究指導を受け、かつ、博士論文の審査及び試験に合格すること。	1 学年の学期区分	2学期	
	1 学期の授業期間	15週	
	1 時限の授業時間	90分	
博士後期課程（臨床実践指導者養成プログラム） 3年間在学し、研究指導を受け、高度専門科目につき20単位以上を修得し、かつ、博士論文の審査及び試験に合格すること。			

教育課程等の概要(事前伺い)

(大学院教育学研究科教育科学専攻(修士課程)【既設分】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
目 コ ー ス 共 ・ 養 成 専 修 科	研究開発コロキウムⅠ	1・2前		2				○		2							
	研究開発コロキウムⅡ	1・2後		2				○		2							
	安全安心文化学	1・2後		2			○									兼2	
	暴力・犯罪の心理臨床	1・2前		2			○									兼1	
	小計(4科目)	—	0	8	0			—		2	0	0	0	0		兼2	
コ ー ス 共 ・ 養 成 専 修 科	教育情報学	1前		2			○						1				
	Effective Learning Strategies	1前		2			○			1							
	国際教育研究フロンティアA	1・2前		2				○		1							
	国際教育研究フロンティアC	1・2後		2				○			1					兼1	
	国際教育研究フロンティアD	1・2前		2				○								兼1 集中、隔年	
	国際教育研究フロンティアF	1・2後		2				○								兼1 集中	
小計(6科目)	—	0	12	0			—		1	1	0	1	0		兼3		
目 ス コ ー ス 共 ・ 養 成 専 修 科	専修コース共通演習A	1・2前		2				○		1						兼5	
	小計(1科目)	—	0	2	0			—		1	0	0	0	0		兼5	
専 門 科 目	教育学研究A	1・2通		4				○		1							
	教育学研究B	1・2通		4				○		1	2						
	教育学特論Ⅱ	1・2後		2			○				1					集中	
	教育学演習Ⅰ	1・2前		2				○		1	1						
	教育学演習Ⅱ	1・2後		2				○		1							
	教育史特論Ⅰ	1・2前		2			○									兼1	
	教育学文献講読演習Ⅰ	1・2前		2				○			1						
	教育学文献講読演習Ⅱ	1・2後		2				○		1							
	教育史演習Ⅰ	1・2前		2				○		1							
	教育史演習Ⅱ	1・2後		2				○		1							
	教育史演習Ⅲ	1・2前		2				○			1						
	教育史演習Ⅵ	1・2後		2				○			1						
	教育史専門ゼミナールⅠA	1・2前		2				○			1						
	教育史専門ゼミナールⅠB	1・2後		2				○			1						
	教育史専門ゼミナールⅡA	1・2前		2				○		1							
	教育史専門ゼミナールⅡB	1・2後		2				○		1							
	小計(16科目)	—	0	36	0			—		2	3	0	0	0		兼1	
	専 門 科 目	教育方法学研究ⅠA	1・2前		2				○		1	1					
		教育方法学研究ⅠB	1・2後		2				○		1	1					
		教育方法学研究ⅡA	1・2後		2				○		1	1					隔年
教育方法学研究ⅡB		1・2後		2				○		1	1					隔年	
教育方法講読演習Ⅰ		1・2前		2				○								兼1	
教育方法講読演習Ⅱ		1・2後		2				○								兼1	
発達科学講読演習		1・2前		2				○		1	1						
教育方法特論Ⅰ		1・2前		2			○		1								
教育方法特論Ⅱ		1・2後		2			○			1							
教育方法特論Ⅲ		1・2前		2			○									兼1 集中	
発達科学特論Ⅰ		1・2前		2			○		1	1							
発達科学特論Ⅱ		1・2後		2			○		1	1							
発達科学特論Ⅲ		1・2前		2			○									兼1 集中	
教育方法演習Ⅰ		1・2前		2				○		1	1						
教育方法演習Ⅱ	1・2後		2				○		1	1							
発達科学演習Ⅰ	1・2前		2				○		1	1							
発達科学演習Ⅱ	1・2後		2				○		1	1							
認知科学演習	1・2後		2				○								兼2		
小計(18科目)	—	0	36	0			—		2	2	0	0	0		兼6		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
高等教育開発論講座科目	高等教育開発論研究A	1・2前		2			○		3	3					兼1
	高等教育開発論研究B	1・2後		2			○		3	3					兼1
	高等教育開発論基礎	1・2前		2		○			3	3					兼1
	青年期の自己・アイデンティティ形成	1・2後		2		○			1						隔年
	教育工学	1・2後		2		○									兼2 隔年
	高等教育文献講読演習	1・2前		2			○			2					兼2
	高等教育システム演習	1・2前		2			○		1	2					兼3
	高等教育方法演習A	1・2前		2			○		1						兼1
	高等教育方法演習B	1・2後		2			○		1						
	高等教育研究法A	1・2前		2			○			1					
	高等教育研究法B	1・2後		2			○			1					
	高等教育総合演習	1・2前		2			○								兼1 集中
	大学で教えるということ	1・2後		2			○		1	1					集中
小計 (13科目)	—	0	26	0		—		3	3	0	0	0		兼4	
専門科目 教育認知心理学講座科目	教育認知心理学研究 I	1・2前		2			○		3	1					兼2
	教育認知心理学研究 II	1・2後		2			○		3	1					兼2
	認知デザイン特論	1・2前		2		○			2	1					兼2 オムニバス
	脳神経科学特論	1・2前		2		○									兼1
	心理デザイン研究法特論	1・2前		2		○									兼2
	認知心理学特論 I	1・2前		2		○									兼1
	認知心理学特論 III	1・2後		2		○									兼1
	認知心理学特論 IV	1・2前		2		○									兼1
	認知心理学特論 V	1・2後		2		○									兼1
	認知心理学特論 VI	1・2前		2		○									兼3
	認知心理学特論 VII	1・2前		2		○									兼1
	認知心理学特論 IX	1・2前		2		○									兼1 集中
	認知心理学特論 X	1・2前		2		○									兼1
	教育心理学講読演習 I	1・2後		2			○								兼1
	教育認知心理学演習 I	1・2前		2			○								兼1
	教育認知心理学演習 II	1・2後		2			○								兼1
	認知過程論演習 I	1・2前		2			○								兼1
	認知過程論演習 II	1・2後		2			○								兼1
	学習・思考論演習 I	1・2前		2			○		1						
	学習・思考論演習 II	1・2後		2			○		1						
	記憶・認知論演習 I	1・2前		2			○		1						
	記憶・認知論演習 II	1・2後		2			○		1						
	感情・システム生命論演習 I	1・2前		2			○			1					
	感情・システム生命論演習 II	1・2後		2			○			1					
	学習デザイン論演習 I	1・2前		2			○		1						
	学習デザイン論演習 II	1・2後		2			○		1						
	心理データ解析演習	1・2前		2			○		1						兼1
	心理デザイン研究法演習	1・2前		2			○								兼2
	認知科学英語演習	1・2後		2			○								兼1
	認知科学演習	1・2後		2			○								兼2
	認知心理学特論	1・2前		2		○									兼1
小計 (31科目)	—	0	62	0		—		3	1	0	0	0		兼15	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
教育社会学講座科目	教育社会学研究Ⅰ	1・2通		4			○		1	1						
	教育社会学研究Ⅱ	1・2通		4			○		1	1						
	社会学講義Ⅱ	1・2前		2			○									兼1
	社会学講義Ⅳ	1・2後		2			○									兼1
	社会学講義Ⅴ	1・2後		2			○									兼1
	文化社会学	1・2後		2			○			1						
	歴史社会学Ⅰ	1・2前		2			○									兼1 集中
	教育社会学特論Ⅱ	1・2後		2			○			1						
	教育社会システム論	1・2前		2			○									兼1 集中
	相関教育システム論講読演習Ⅰ	1・2前		2				○		1						
	相関教育システム論講読演習Ⅱ	1・2前		2				○								兼1
	相関教育システム論講読演習Ⅲ	1・2前		2				○								兼1
	教育社会学演習Ⅰ	1・2前		2				○		1						
	教育社会学演習Ⅱ	1・2後		2				○			1					
	教育社会学専門ゼミナールⅠ	1・2通		4				○		1	1					
	教育社会学専門ゼミナールⅡ	1・2通		4				○		1	1					
	社会調査Ⅰ	1・2前		2				○		1						
	社会調査Ⅱ	1・2後		2				○		1						
小計(18科目)	—	—	0	44	0		—		2	2	0	0	0		兼7	
生涯教育学講座科目	生涯教育学研究Ⅰ	1・2前		2			○		1							
	生涯教育学研究Ⅱ	1・2後		2			○		1							
	生涯教育学特論Ⅱ	1・2前		2			○									兼1 集中
	メディア文化学特論Ⅰ	1・2前		2			○									兼1 集中
	生涯教育学講読演習	1・2前		2			○									兼1
	生涯教育学専門ゼミナールⅠ	1・2前		2			○		1							
	図書館情報学講読演習	1・2後		2			○				1					
	生涯教育学演習Ⅰ	1・2前		2			○		1							
	図書館情報学演習Ⅰ	1・2前		2			○				1					
	図書館情報学演習Ⅱ	1・2後		2			○				1					
	図書館情報学専門ゼミナールⅠ	1・2前		2			○				1					
	図書館情報学専門ゼミナールⅡ	1・2後		2			○				1					
	メディア文化学演習Ⅰ	1・2前		2			○		1							
	メディア文化学演習Ⅱ	1・2後		2			○		1							
	メディア文化学専門ゼミナールⅠ	1・2前		2			○		1							
	メディア文化学専門ゼミナールⅡ	1・2後		2			○		1							
小計(16科目)	—	—	0	32	0		—		1	0	1	0	0		兼3	
比較教育政策学講座科目	比較教育政策学研究Ⅰ	1・2前		2			○			1						
	比較教育政策学研究Ⅱ	1・2後		2			○		1							
	教育経営学Ⅰ	1・2前		2			○									兼1 集中
	教育政策形成論Ⅰ	1・2後		2			○		1							
	教育政策形成論Ⅱ	1・2後		2			○			1						
	比較教育学特論Ⅰ	1・2前		2			○		1							
	比較教育学特論Ⅱ	1・2後		2			○		1							
	比較教育学特論Ⅲ	1・2前		2			○			1						
	比較教育学演習	1・2通		4			○		2							
	教育政策学演習ⅡA	1・2前		2			○			1						
	教育政策学演習ⅡB	1・2後		2			○			1						
	教育政策学専門ゼミナールⅠ	1・2前		2			○			1						
	教育政策学専門ゼミナールⅡ	1・2後		2			○			1						
	比較教育学専門ゼミナール	1・2通		4			○		2							
教育資源配分論Ⅰ	1・2前		2			○									兼1	
小計(15科目)	—	—	0	34	0		—		2	1	0	0	0		兼2	
修士論文	2通	—	—	—	—	—	○		15	12	1	0	0		兼1	
小計(1科目)	—	—	0	0	0		—		15	12	1	0	0		兼1	
合計(139科目)	—	—	0	292	0		—		15	12	1	1	0		兼48	
学位又は称号	修士(教育学)		学位又は学科の分野			教育学・保育学関係										

教育課程等の概要(事前伺い)

(大学院教育学研究科臨床教育学専攻(修士課程)【既設分】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
研究者養成コース 共通科目	教育情報学	1前		2		○						1				
	Effective Learning Strategies	1前		2		○			1							
	国際教育研究フロンティアA	1・2前		2			○		1					兼1		
	国際教育研究フロンティアC	1・2後		2			○			1				兼1	集中、隔年	
	国際教育研究フロンティアD	1・2前		2			○							兼1	集中	
	国際教育研究フロンティアF	1・2後		2			○							兼1	集中	
	研究開発コロキウムⅠ	1・2前		2			○		2							
	研究開発コロキウムⅡ	1・2後		2			○		2							
	安全安心文化学	1・2後		2			○								兼2	
	暴力・犯罪の心理臨床	1・2前		2			○								兼1	
	小計(10科目)	—	0	20	0		—		3	1	0	1	0	兼5		
臨床教育学講座科目	臨床教育学研究Ⅰ	1・2前		2			○		2	2						
	臨床教育学研究Ⅱ	1・2後		2			○		2	2						
	臨床教育学特論Ⅱ	1・2後		2			○							兼1		
	臨床教育人間学特論Ⅰ	1・2前		2			○							兼1		
	教育人間学講読演習Ⅰ	1・2前		2			○			1		1				
	教育人間学講読演習Ⅱ	1・2後		2			○			1		1				
	臨床教育学演習Ⅰ	1・2前		2			○		1							
	臨床教育学演習Ⅱ	1・2後		2			○			1						
	臨床教育人間学演習Ⅰ	1・2前		2			○		2	2		1				
	臨床教育人間学演習Ⅱ	1・2後		2			○		2	2		1				
	小計(10科目)	—	0	20	0		—		2	2	0	1	0	兼2		
専門科目 心理臨床学講座科目	心理臨床学研究	1・2通		4			○		1						兼2	
	司法・矯正心理臨床概論	1・2後		2			○								兼1	
	臨床心理学特論Ⅰ	1・2後		2			○			1					隔年	
	心理療法特論	1・2後		2			○								兼1 隔年	
	心理臨床倫理・関連法規特論	1・2前		2			○		1	1					集中	
	臨床心理面接特論Ⅰ	1・2前		2			○		1						兼1	
	臨床心理面接特論Ⅱ	1・2後		2			○		1						兼1	
	臨床心理学講読演習Ⅰ	1・2前		2			○								兼1	
	臨床心理学講読演習Ⅱ	1・2前		2			○								兼1	
	心理臨床学講読演習Ⅰ	1・2前		2			○		1						兼2	
	心理臨床学講読演習Ⅱ	1・2後		2			○								兼3	
	心理臨床学コロキウムⅠ	1・2前		2			○								兼5	
	心理臨床学コロキウムⅡ	1・2後		2			○								兼5	
	心理臨床ケースカンファレンスⅠ	1・2前		2			○		1	1					兼1	
	心理臨床ケースカンファレンスⅡ	1・2前		2			○		1						兼1	
	心理臨床ケースカンファレンスⅢ	1・2前		2			○			1					兼1 隔年	
	心理臨床ケースカンファレンスⅣ	1・2後		2			○		1	1						
	心理臨床ケースカンファレンスⅤ	1・2後		2			○		1							
	心理臨床ケースカンファレンスⅥ	1・2後		2			○			1					兼1 隔年	
	インテークカンファレンス	1・2通		4			○		3	2					兼2	
	臨床心理査定演習Ⅰ	1・2前		2			○			1					兼1	
	臨床心理査定演習Ⅱ	1・2後		2			○			1					兼1	
	臨床心理学研究法実習Ⅰ	1・2前		1				○							兼1	
	臨床心理学研究法実習Ⅱ	1・2後		1				○							兼1	
	臨床心理基礎実習Ⅰ	1・2前		1				○	1						兼1	
	臨床心理基礎実習Ⅱ	1・2後		1				○	1	1						
	臨床研究開発コロキウム	1・2通		4				○	3	2					兼2	
	臨床心理実習	1・2通		2				○	3	2					兼2	
	病院実習	1・2通		2				○							兼2	
	グループ・カウンセリング演習Ⅰ	1・2前		2				○	1						兼1	
	グループ・カウンセリング演習Ⅱ	1・2後		2				○	1						兼1	
小計(31科目)	—	0	64	0		—		3	2	0	0	0	兼17			

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	臨床心理実践学研究	1・2通		4				○		1	1					
	臨床心理実践学特論	1・2前		2			○									兼1 集中
	現場実践ケースカンファレンスⅠ	1・2前		2				○			1					兼1
	現場実践ケースカンファレンスⅡ	1・2後		2				○		1	1					兼1
	教育現場演習	1・2通		2					○	1						兼4
	臨床人間形成学実習Ⅲ	1・2通		2					○							兼2
	ケーススーパービジョンⅠ	1・2後		2					○	3	2					兼2
	ケーススーパービジョンⅡ	1・2前		2					○	3	2					兼2
	小計(8科目)	—	0	18	0			—		3	2	0	0	0		兼10
	修士論文	2通	—						○	5	5	0	0	0		兼2
小計(1科目)	—	0	0	0			—		5	5	0	0	0		兼2	
合計(60科目)		—	0	122	0			—	5	5	0	1	0		兼29	—
学位又は称号		修士(教育学)		学位又は学科の分野				教育学・保育学関係								

教育課程等の概要(事前伺い)

(大学院教育学研究科教育科学専攻(博士後期課程)【既設分】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
	博士論文	3通	-				○		15	12	1	0	0	兼1	
合計(1科目)		-	0	0	0		-		15	12	1	0	0	兼1	
学位又は称号		博士(教育学)		学位又は学科の分野			教育学・保育学関係								

教育課程等の概要(事前伺い)

(大学院教育学研究科臨床教育学専攻(博士後期課程)【既設分】)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	臨床実践指導学研究ⅠA	1・2・3前		2			○		1	1					
	臨床実践指導学研究ⅠB	1・2・3後		2			○		1	1					
	臨床実践ケースカンファレンスⅠ	1・2・3前		2			○		1	1					
	臨床実践ケースカンファレンスⅡ	1・2・3後		2			○		1	1					
	臨床実践アフターカンファレンスⅠ	1・2・3前		1				○	1	1					
	臨床実践アフターカンファレンスⅡ	1・2・3後		1				○	1	1					
	臨床実践指導学実習	1・2・3通		2				○	3	2					兼2
	臨床実践フィールド演習	1・2・3通		4				○	1	1					
小計(8科目)		-	0	16	0		-		3	2	0	0	0	兼2	-
	博士論文	3通	-				○		5	5	0	0	0	兼2	
小計(1科目)		-	0	0	0				5	5	0	0	0	兼2	
合計(9科目)		-	0	16	0		-		5	5	0	0	0	兼2	-
学位又は称号		博士(教育学)		学位又は学科の分野			教育学・保育学関係								